

# 県酪だより

県内最大頭数600頭規模の復興牧場“フェリスラテ”が誕生！！



復興牧場“フェリスラテ”の施設全体完成写真

## 福島酪農の復興へのシンボル 復興牧場 完成



かねてより建設中の復興牧場が完成しました。建設にあたっては補助金交付はもとより多義にわたってのご指導・ご協力をいただいた国・県・福島市や農中・全酪連・県内農業団体等に出席いただき、本組合役職員合せて一〇〇名の出席のもと、平成二十七年九月二十五日(金)午前に落成見学会、午後には落成式を実施いたしました。

見学会はあいにくの雨の中ではありませんでしたが、午前十一時から記念碑除幕と落成テープカット式に続いて三班に分かれて牧場内を見学いたしました。

次に、会場を移動して十二時三十分からの落成式では、畠利行県副知事様、衆議院議員根本匠様、衆議院議員亀岡偉民様（代読）、斎藤勝利県議会議長様、小林香福島市長様（代読）、更に農林水産省からは畜産部長大野高様、農林中央金庫常務理事後藤彰三様から来賓祝辞を頂戴しました。設計や施工関係者への感謝状贈呈に続いて工事関係者からの挨拶、祝電披露の後に祝宴となりました。

さらに、復興牧場に対する関心の高さがうかがわれ報道関係は一九社が来場しての取材がありました。

今後の牧場運営については㈱フェリスラテへ委ねることになりますが、記念碑の「衆智復興」のとおり「皆の知恵を集め再び盛んにする」との思いをもって、福島酪農の復興のシンボルとして永く反映することを期待し閉会となりました。

なお、復興牧場の概要については次ページのとおりです。



視察研修に参加した組合員の中には、浜支所や飯館の方々も参加していただくなど、期待の大きい牧場であるということを実感いたしました。

九月三十日(水)に、落成式を執り行ったばかりの復興牧場「フェリスラテ」を県内各地の組合員が視察研修に訪れました。

復興牧場「フェリスラテ」は、皆様もご存じのとおり、福島県最大の牧場であり、東日本大震災や原発事故により、休業を余儀なくされた五名が共同にて運営していくという今までのない牧場であるとともに、最新施設・設備を調えたという牧場であるため、完成に至るまでも、視察研修等の要望もあり、落成式を迎えた今回のタイミングで視察研修が行われることとなりました。

また、牧場完成に伴い本格的に牧場の運営が始まるため、初妊牛導入後以降の牧場視察

九月二十五日(金)の落成式においても、田中一正代表取締役のあいさつにあつたように、「いつか牧場が軌道に乗り、そしてそれを見た福島酪農仲間たちが元気に出してもらえればこれほどの喜びはありません。そんな日が来るよう私自身これが自分にとっての酪農人生の集大成と決意し、一生懸命頑張っていく決意です。」と、フェリスラテが、福島酪農への復興の牧場として、担う役割は大きく、引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



の受け入れについては、牧場内管理区域への立ち入り等制限させていただきまますので、併せてご配慮いただきますようお願いいたします。

# 県内各地から組合員が参加し、復興牧場「フェリスラテ」の視察研修行っ。復興牧場現地視察研修会開催

## ～復興牧場（フェリスラテ）施設の概要～



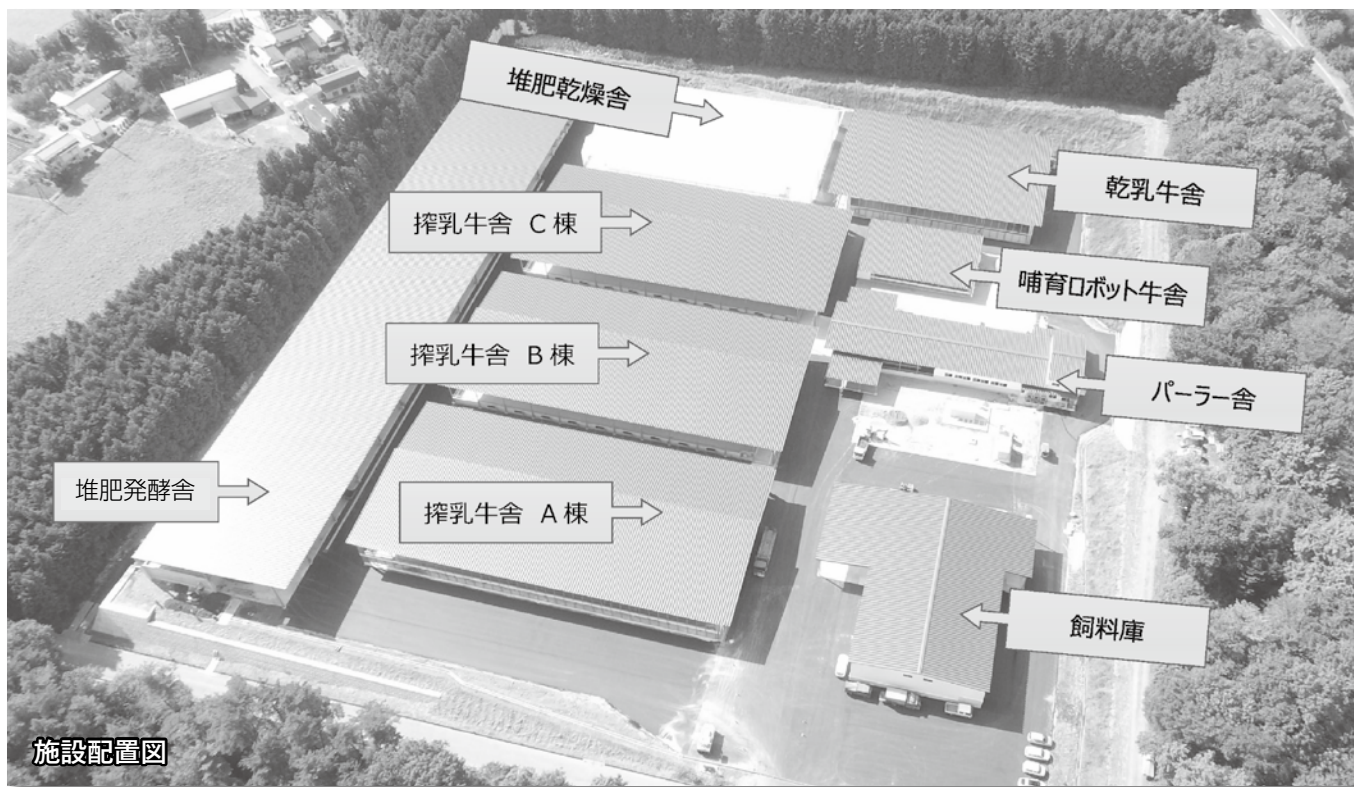
パーラー舎

一度に40頭を搾乳できるパーラーで、フル稼働時の生乳出荷量は1日15t。



搾乳牛舎・乾乳牛舎

ベッドがストールで区切られておらず、牛の安楽性が高い牛舎で搾乳牛舎1棟に160～170頭、乾乳牛舎には80～100棟収容できる。



施設配置図

### 牧場運営組織の概要

1. 法人名：農業生産法人(株)フェリスラテ
2. 設立年月日：平成26年4月1日
3. 構成員：代表取締役 田中 一正  
 取締役 長谷川義宗  
 取締役 但野 賢士  
 取締役 宮田 幸雄  
 取締役 門馬 秀昭

#### ※社名の由来

社名は、フェリス（Feliz：スペイン語・幸福、幸せ）、ラテ（Latte：イタリア語・牛乳）を組合わせた造語。この牧場から皆を幸せにする牛乳を届けたいという5名の思いが込められています。

### 復興牧場の概要

1. 住 所 福島市土船字新林25-17
2. 敷地面積 36,833㎡
3. 主要施設 搾乳牛舎3棟・乾乳牛舎・パーラー舎  
 哺乳ロボット舎・飼料庫  
 堆肥発酵舎・堆肥乾燥舎
4. 総事業費 1,516,149千円（税込）
5. 事業補助金 東日本大震災農業生産対策交付金事業  
 国補助（50.0%）702,189千円  
 県補助額（32.5%）456,421千円

福島県牛乳普及協会

「おいしいふくしまいただきます！フェスティバル2015」に出店

# ミルクフェア2015

『ふくしま乳<sup>にゅう</sup>1-PRアイドル総選挙』を開催！！

ご当地アイドルが県内6社の乳業メーカーそれぞれの1日広報部長として、一押しの牛乳・乳製品をPR！！



ご当地アイドルが各乳業メーカーの1日広報部長として、牛乳・乳製品をPR！！

メインのイベントとして「ふくしま乳1-PRアイドル総選挙」と題し、酪王乳業(株)・東北協同乳業(株)・会津中央乳業(株)・木村ミルクプラント(株)・松永牛乳(株)・(有)角田ミルクプラント

今年度の「ミルクフェア」は県外で実施を視野に予定しておりましたが震災から四年が経過し乳業者の現状を考慮した中で、県外ではなく県内でまだまだ各乳業者が販売に苦戦をしいられている現状で何が出来るかを問うイベントとして開催致しました。

福島県牛乳普及協会では平成二十七年九月十二日(土)・十三日(日)郡山市ビックパレットふくしまで開催された「おいしいふくしまいただきます！フェスティバル2015」に出店し「ミルクフェア2015」を開催致しました。

朝早くから開場時間をお客様が列を作って並んでおり、二日間で四八〇〇〇人とたくさんの方が来場されました。



り広げ、各乳業者の主力商品PR・認知度アップに繋がったイベントとなりました。

今までにならぬ企画により各乳業者もイキキとしてアイドルと一

の六社に一名ずつ県内のご当地アイドルに一日広報部長になつて頂き、各乳業者一押しの商品をPRしてもらい、応援度合いを来場された方に投票していただく「アイドル乳1総選挙」を開催し、アイドルと各乳業者の掛け合による商品PRや試食・試飲・即売またはアイドルによる歌やダンスで楽しいPR合戦を繰り広げ、各乳業者の主力商品PR・認知度アップに繋がったイベントとなりました。





緒に商品PRをしていたのが大変印象的でした。

また、他の出展者からは温かく応援して頂き、県内乳業者には力があるんだなど再確認できたイベントでした。

九月十三日(日)はメインステージにおいて料理家・管理栄養士の小山浩子先生に「乳和食」の実演をして頂きました。福島県酪婦人部やまびこ会二名の方に助手としてご協力頂き、少ない時間の中で「かぼちゃのミルクそばろ煮」「ミルクつけつゆ」「自家製ミルクチーズ&ミルク酢」「豆腐とミルクチーズやっこ」「減塩ミルク酢ポン酢がけ」



9月13日(日)にはメインステージにて、小山浩子先生が「乳和食」を実演!!



「桃のミルク酢ドリンク」五品の牛乳を使った減塩料理を完成させ、楽しい話をしながらの大変好評なステージイベントとなり、牛乳を料理に使ってもらおう動機づけになったのではないかと思います。

今後も生・処・販一体となり、安全安心な福島県産牛乳のPRをしていきますので、皆様のご協力をお願い致します。



県内には、様々な牛乳・乳製品があり、各乳業メーカーも、ご当地アイドルとともにPRに力をいれてました。

やまびこ会研修会が開催されました



去る九月九日(水)県酪婦人部やまびこ会(会長 中瀬明美)の平成二十七年研修会が、いわき市の「とまとランド いわ

き」に於いて開催されました。敷地面積七、〇〇〇坪、そのうちハウスが六、〇〇〇坪で、電子制御で溶液を流し管理されている水耕栽培。従業員三五名で国が定めた基準によるホルモン剤を人間が受粉したり、病害虫の防除はロボットを使い国で定められている回数散布。安心して食べてもらえるトマトを生産するよう努めていますと言っておられました。広いハウス三棟を説明を聞きながら見学しましたが、栽培についての質問が多く出され、一時間があったと言う間に過ぎてしまいました。その後いわき蟹洗温泉に場所を移し、昼食後は楽しみのひとつの温泉に入ったり、一年ぶりに再会した会員さん同士

が地域の枠を超え、楽しく過ごしていました。朝からあいにくの雨で、研修先や道路状況が心配でしたが、会員さんからは、雨降りだったから参加出来たのよという声も聞かれ、忙しい時期の開催でしたが、リフレッシュになったのかなと思いました。閉会式で佐藤副会長より、皆さんの元気な顔を見ることが出来てうれしかった。また明日から頑張つて来年またお会いしましょうねと締めくくりました。



が地域の枠を超え、楽しく過ごしていました。朝からあいにくの雨で、研修先や道路状況が心配でしたが、会員さんからは、雨降りだったから参加出来たのよという声も聞かれ、忙しい時期の開催でしたが、リフレッシュになったのかなと思いました。閉会式で佐藤副会長より、皆さんの元気な顔を見ることが出来てうれしかった。また明日から頑張つて来年またお会いしましょうねと締めくくりました。



乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2015年8月31日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数							合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸当 り頭数
	組合／支所	戸数	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛							
							乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
県 北 支 所	24	26	92.3	254	113	80	253	399	732	1,099	1,150	95.6	45.8	
安 達 事 業 所	22	22	100.0	127	46	70	138	238	446	619	637	97.2	28.1	
県 中 支 所	31	34	91.2	163	77	91	200	480	771	1,011	1,069	94.6	32.6	
田 村 事 業 所	28	29	96.6	29	11	33	69	172	274	314	352	89.2	11.2	
浜 支 所	11	13	84.6	65	33	19	59	150	228	326	366	89.1	29.6	
小 野 事 業 所	28	29	96.6	61	30	59	103	227	389	480	531	90.4	17.1	
会 津 事 業 所	9	9	100.0	76	27	40	64	113	217	320	313	102.2	35.6	
県 南 支 所	58	60	96.7	704	307	317	679	1,206	2,202	3,213	3,403	94.4	55.4	
JAそうま飯館総合支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県 酪	211	222	95.0	1,479	644	709	1,565	2,985	5,259	7,382	7,821	94.4	35.0	

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量					
	組合／支所	2015	2015	2015	2015	2016	2016	2016	牛乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県 北 支 所	56	75	55	52	55	58	95	24	16,191	675	24.8	22.1	
安 達 事 業 所	40	36	45	42	31	19	41	22	9,947	452	26.5	22.3	
県 中 支 所	63	50	60	61	44	31	59	31	16,769	541	24.7	21.7	
田 村 事 業 所	22	20	22	10	17	10	12	28	5,290	189	22.0	19.3	
浜 支 所	10	17	21	12	15	16	20	9	5,370	597	25.7	23.6	
小 野 事 業 所	34	29	19	36	31	18	25	28	8,196	293	24.8	21.1	
会 津 事 業 所	27	18	18	17	17	23	11	9	3,772	419	21.3	17.4	
県 南 支 所	148	221	182	197	173	173	209	58	52,697	909	28.0	23.9	
JAそうま飯館総合支店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県 酪	400	466	422	427	383	348	472	209	118,232	566	26.0	22.5	

平成27年度受託乳量の状況

平成27年8月の受託乳量は、県全体で前年比97.2%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,658トンの対前年比98.8%（対前年同月45トン減）と下回り、全農県本部は2,022トンの対前年比94.6%（対前年同月115トン減）

の実績でありました。

東北生乳販連の受託実績については、前年比100.1%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比101.3%であります。（北海道：102.1%、都府県：100.4%）

平成27年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

8月の東北全体での用途別販売状況については、学乳向けが104.6%、醗酵乳向けが112.4%（全国の前年比104.1%）と上回り、飲用向けは99.6%（全国の前年比100.6%）、加工向けは前年比89.3%（全国の前年比106.7%）、生クリーム向けは95.9%（全国

の前年比97.5%）、チーズ向けは96.5%（全国の前年比98.2%）と前年を下回り推移した。

なお、今月の当組合酪王乳業での生乳使用量は日量平均45.9トンで、本組合生産量の38.9%、県全体生産量の25.0%となっております。

## 平成27年度月別支払乳価表

8月分支払乳価については、4月より飲用向け、醜酵乳等向けが値上げされ、また加工向けにおいても北海道の価格交渉結果に準じて値上げされ全用途について価格改定がされていることにより、プール乳価は3円38銭前年より上回り、補給金単価は前年を12銭下回り、差引前年より3円26銭上回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,693,004千円 単価106.006円  
 ■内 福島県分プール乳代金① 584,413千円 単価106.006円  
 プール対象外乳代金② 614,931千円  
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 614,931千円 単価108.274円

項 目	27年8月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	104円069	100円690	3円379	95円729
補給金単価	1円171	1円288	-0円117	1円491
合 計	105円240	101円978	3円262	97円220

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

### (東北全体8月)

用 途 別	販売乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
飲 用 向 け	32,043	1,034.0	99.6
加 工 向 け	4,065	131.0	89.3
学 校 給 食 向 け	881	28.0	104.6
醜 酵 乳 向 け	6,326	204.0	112.4
生クリーム向け	1,562	50.0	95.9
チ ー ズ 向 け	274	9.0	96.5
全乳哺育向け	1	0.0	100.0
合 計	45,152	1,456.0	100.1

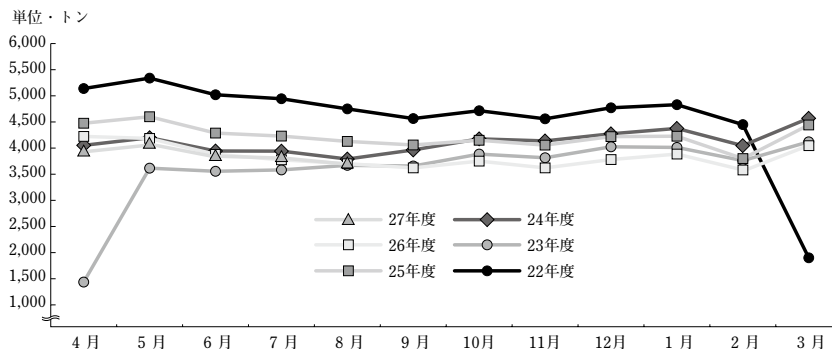
備考 1) 買取乳量を除く

### 団体別受託乳量の状況

団 体 名	8 月 分		
	受託乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
県 酪 協	3,658	118.0	98.8
全農福島県本部	2,022	65.2	94.6
合 計	5,680	183.2	97.2
東北生乳販連	45,152	1,456.5	100.1
全 国	587,222	18,942.6	101.3

### 月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	5,140	5,322	5,018	4,944	4,753	4,566	4,714	4,560	4,764	4,829	4,445	1,899	54,954
23年度	1,436	3,614	3,544	3,581	3,669	3,656	3,874	3,815	4,030	4,012	3,759	4,118	43,108
24年度	4,052	4,200	3,943	3,913	3,790	3,964	4,178	4,110	4,273	4,373	4,054	4,569	49,419
25年度	4,476	4,605	4,287	4,231	4,129	4,062	4,149	4,053	4,219	4,276	3,807	4,343	50,637
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658								15,620
前年比%	94.5	97.0	98.9	100.7	98.8								97.7



### 年次別・月別支払乳価一覧 (補給金を含む)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240								35.321
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753
25年度	96.846	98.345	99.659	98.837	97.220	99.688	102.698	102.627	100.215	100.738	101.861	99.542	99.856
24年度	96.446	97.780	99.371	98.530	97.817	100.446	99.772	99.452	97.324	97.231	97.699	95.806	98.140
23年度	99.914	99.451	100.687	98.681	97.352	100.084	100.031	100.068	97.842	97.702	98.902	96.546	98.938
22年度	95.470	96.612	99.662	98.706	97.147	101.210	99.707	99.740	95.378	95.235	96.682	96.793	97.695



## 第239回 県酪協乳牛市場成績

平成27年9月14日開催

購買者数 32名 (うち県外8名)

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	6 ( 86)	448,000 339,000	402,667 ( 90)	85 ( 74)	4,765 ( 122)
		雄	16 ( 94)	545,000 415,000	492,313 ( 109)	98 ( 103)	5,011 ( 105)
	乳牛	メス	4 ( 100)	30,000 4,000	11,000 ( 39)	54 ( 74)	206 ( 53)
		雄	67 ( 99)	103,000 1,000	72,552 ( 90)	71 ( 96)	1,023 ( 94)
	交雑牛	メス	83 ( 100)	216,000 74,000	148,964 ( 97)	72 ( 106)	2,079 ( 92)
		雄	96 ( 100)	289,000 32,000	222,250 ( 100)	76 ( 109)	2,926 ( 92)

価格：円 (落札価格) 率・比：% 体重：kg

初生牛の畜種別価格帯每分布表 (0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です)

畜種	雌雄	価格帯 (万円)																											
		30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54			
ET和牛	メス				1	1																							
	雄															1													
乳牛	メス	3			1																								
	雄	2			1	2	6	5	28	19	1	3																	
交雑牛	メス																												
	雄	1																											

### 組合の動き 9月

- 9月1日 福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議
- 9月8日 全共選考委員会
- 9月9日 やまびこ会研修会
- 9月10日 県畜産関係団体連絡協議会
- 9月11日 日本ホルスタイン登録協会理事会
- 9月12日 福島県牛乳普及協会ミルクフェア
- 9月12日~13日 2015
- 9月14日 乳牛セリ市場
- 9月14日 福島県農業会議常任会議員会議
- 9月16日 第2回管理委員会・第2回生産委員会合同会議
- 9月17日 東京電力JA損害賠償対策福島県協議会役員会・総会
- 9月18日 東北生乳販連事業推進委員会
- 9月24日 第14回全共出品候補牛最終選考会
- 9月25日 復興牧場見学会及び落成式
- 9月27日 酪王まつり
- 9月28日 第6回理事会
- 9月28日 第6回経営検討会
- 9月28日 第5回再建検討委員会
- 9月29日 酪王乳業(株)取締役会

### 理事会

#### 第6回 9月28日

#### 議案

- 議案第1号 酪王乳業に係る固定資産の取得について
- 議案第2号 復興牧場建設資金及び乳牛導入資金の借入について
- 議案第3号 ㈱フェリスラテとの復興牧場賃貸借契約について
- 議案第4号 組合員の清算について
- 議案第5号 組合員の出資口数の減少について
- 議案第6号 農家経営安定資金の貸付について

#### 報告事項

- 1) 今後の日程について

### 管理委員会・生産委員会合同会議

#### 第2回 9月16日

#### 議案

- 1) 酪王乳業に係る固定資産の取得について
- 2) 復興牧場建設資金及び乳牛導入資金の借入について
- 3) ㈱フェリスラテとの復興牧場賃貸借契約について
- 4) 組合員の清算について

退職	氏名	事由	所属等
平成27年7月31日付	宗 像 敦	自己都合退職	県中酪農ヘルパー利用組合

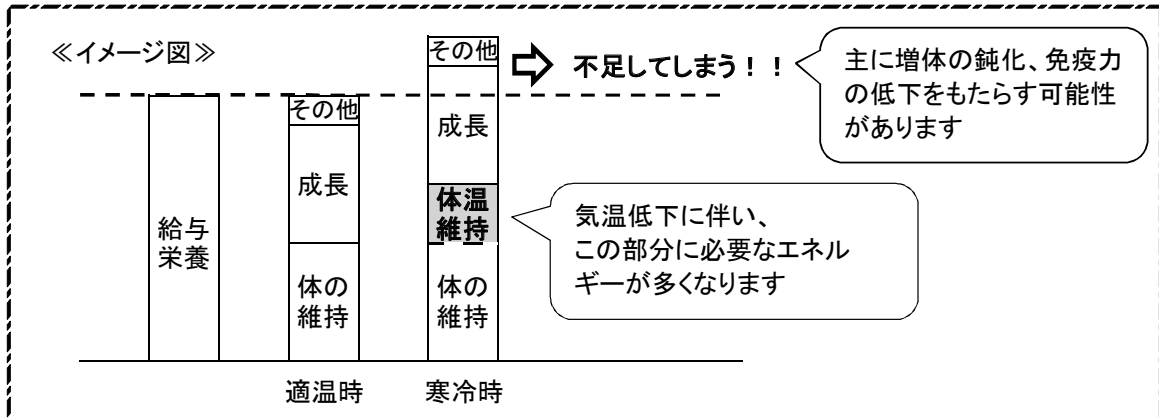
全酪連の小窓 第54回

子牛を守る寒冷対策 — 快適な環境づくり—

時下、酪農家の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
秋も深まり、冬の到来ももうすぐそこまでやってきました。今回は、これから訪れる寒冷時期に向け、子牛の寒冷対策についてお話していきたいと思ひます。

寒さは子牛の大敵！

子牛は成牛と比べ、体脂肪が少なく、寒冷時期では体温維持にエネルギーが消費されます。体温維持で余計にエネルギーが消費されるということは、言い換えますと、他の用途で使われるはずだったエネルギーが不足するという事になります。



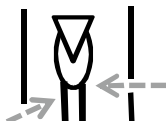
○ 寒冷ストレスによるエネルギー不足を防ぐためには、環境面からの対策と飼料面からの対策が考えられますが、今回は、環境面からの対策をご紹介します。

環境面の対策:とにかく子牛を冷やさない！！

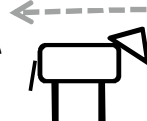
下記の3点に注意してください

- ① 牛体・牛床は常に乾燥した状態を保つこと
  - ・ 体が濡れていると酸化熱で体温を奪われてしまいます。敷料の交換はこまめに行いましょう。
- ② 隙間風を当てないこと
  - ・ 子牛に隙間風が当たっていると体温を奪われてしまいます。ハッチやペンに隙間風が吹き込んでいないか注意してみてください。尚、隙間風は寒暖差によっては風のない室内でも生じる可能性があります。
  - ・ 隙間風と換気は異なります！換気は、空気中の細菌数を減らすために必要です。

《隙間風》  
隙間から吹き込み  
子牛を冷やす



《換気》  
空気の入替えに伴い  
滞留している細菌を  
運び出す



- ③ 気温の低下から身を守れるようにすること
  - ・ 子牛が巣ごもりできる程度敷料を入れましょう。細断したワラをおすすめします。  
《参考: 巣作りスコア》※スコアが3に近づくほど良いとされています

スコア1	子牛が肢を露出して敷料に横たわる
スコア2	子牛はいくらか敷料に埋もれているが、肢の一部が敷料の上に出てい
スコア3	子牛が敷料に埋もれていて、肢が見えない

ワラが無い場合であっても、冷えついた地面から子牛を守るためにも敷料は厚めにしてあげてください

- ・ 敷料の確保が難しい場合は、モーベスト(子牛用ジャケット)やヒーターの利用もお勧めします。

しっかりと冬支度をし、寒冷ストレスに負けない元気ハツラツ子牛を目指しましょう

## バイエル子牛の健康講座 おしえて！ウッシー先生⑥

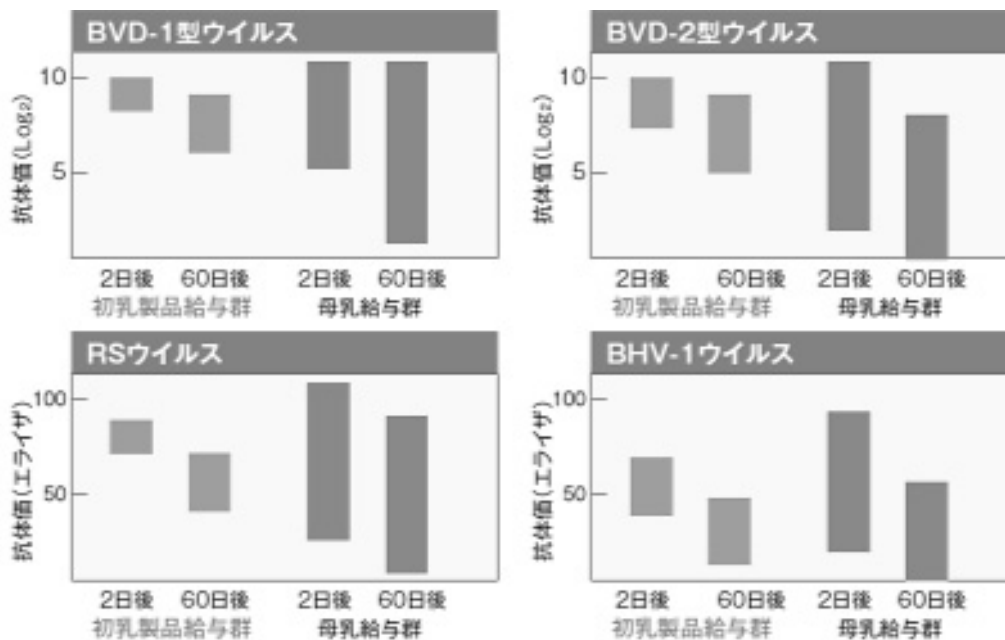
今月は下痢や肺炎から子牛を守るために重要な働きをする「抗体の移行」に関する話題です。

母親の初乳は生まれた子牛にとって最高のごちそうです。しかし、どうしてもその初乳の品質には母親の産歴や健康状態などによってバラツキが出てしまいます。

下の図をご覧ください。これは初乳製品もしくは母牛からの初乳を給与して各疾病に対する子牛の抗体価の分布をあらわしています。母乳を給与された子牛では抗体価のバラツキがみられる一方、初乳製品給与群ではバラツキが少ないことがわかります。



ウッシー先生



Chamorro, *et al.* Can J Vet Res, 2014

基本はできるだけ品質の良い初乳をたっぷり、早めに給与することが重要です。もし初乳の品質に不安があるときは移行抗体のバラツキを少なくするためにも初乳製品を上手に利用すると効果的であると考えられます。



バイエル薬品株式会社

動物用薬品事業部

〒981-3133

仙台市泉区泉中央 1-14-1 インテレクト 21

TEL (022)776-0271

# ZENOAQ コーナー～Vol.131



〒963-0196  
 福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1  
 日本全薬工業(株) 福島営業所  
 TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

## ■駆虫していますか？

牛の生活には様々な虫たちが関わっています。ルーメン内で飼料の消化に関わる有益な虫だけでなく、身体の外内に寄生して食べた栄養を横取りしたり、寄生による痒みがストレスとなり牛の生産性を低下させる虫たちがいます。今回のBreak Timeは、牛に関わる寄生虫についてご紹介します。

## ■牛に関係する寄生虫とは

牛に関係する寄生虫は外部寄生虫と内部寄生虫の大きく2つに分類されます。代表的なものを以下に説明します。

### 外部寄生虫

体の表面に寄生し、直接目で見て症状や虫の確認を行うこともできます。牛に痒みや吸血によるストレスを与えて生産性を低下させます。



ノシバエ



ハジラミ



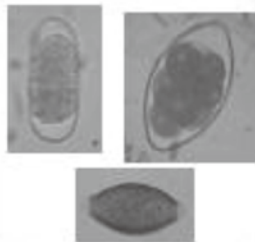
疥癬ダニ

### 内部寄生虫

体の中に寄生するため、直接目でその汚染状況を確認することはできません。内部寄生虫の中には、vol.6で紹介したクリプトスポリジウムやコクシジウムのように下痢など目に見える症状を引き起こすものもありますが、消化管内線虫のように隠れて悪さをするものもあります。消化管内線虫は知らぬ間に感染し食欲の減退や発育にも影響します。



イメージ



主に胃や腸に寄生するもの  
 (消化管内線虫)

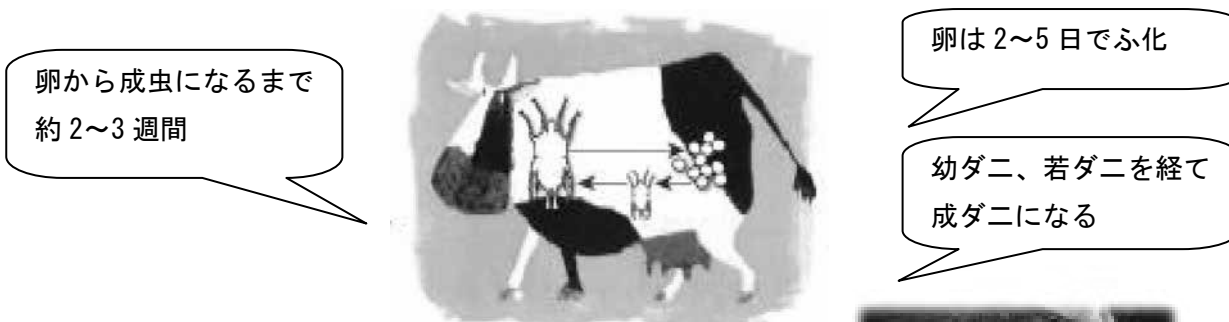


寄生性胃腸炎  
 貧血、栄養障害による免疫力低下  
 発育の阻害(生産性低下)

●定期的な駆虫をお勧めします。ご不明な点がございましたら弊社営業員までお問い合わせ下さい。

## 乳牛で問題になることが多い疥癬ダニとは？

疥癬は、微小なダニであるとゼンダニ類（主に食皮ヒゼンダニ：Chorioptes bovis）の寄生により起こる皮膚炎です。食皮ヒゼンダニは牛の表皮や皮脂膜の分泌物を摂食し、その一生を牛の体表上で過ごします。卵は2～5日でふ化し、幼ダニ、若ダニを経て、成ダニに成熟します、卵から成ダニになるまでの期間は約2～3週間です。1匹のメスが一生の間に約90個の卵を産卵すると言われています。



食皮ヒゼンダニは牛の尾根部、後肢上部、乳房上部に痂皮（かさぶた）を形成し、強い痒みを引き起こします。痒みは牛にとって大きなストレスとなり、生産性の低下をもたらします。右の写真のように、尾根部が脱毛し、痂皮のある牛がいたら、牛群が疥癬ダニに汚染されているサインです。



## ストレスが引き起す搾乳牛への影響



正常な射乳のメカニズム

牛にストレスがかかると交感神経が刺激され、アドレナリンが分泌されます。アドレナリンには血管収縮作用があり血流量が減少するため、乳腺に届くオキシトシン量が少なく、射乳量が減少します。これは過搾乳の原因となり、乳房炎の発生リスクを高めます。

ストレスから牛を守るために、駆虫を行ってストレス要因の1つである疥癬による痒みから解放してあげましょう。エプリネックストピカルなら搾乳牛にも投薬できます。

牛乳の休薬がゼロで、搾乳牛に駆虫できる画期的な製品ができました

ラグビーワールドカップ2015 イングランド大会 **日本代表の熱き戦いで  
キンちゃんこと大野均選手 日本中に感動を届ける！！**  
**ワールドカップで手にした悲願の勝利！！**



酪王乳業で大野均選手と記念撮影 ～大野選手のたくましい体の大きさがよくわかります～

今大会で、  
**代表最年長出場** (三七歳一五〇日)と  
日本歴代最多キャップ数 **「96」**という偉業を成し遂げる!!

イングランドで開催されたラグビーワールドカップで日本代表は初戦の南アフリカ戦において、念願の「一勝」を勝ち取りました。この勝利は、日本中、いや、世界中が驚きと感動の試合となり、その後の日本では今までになくらいに子供から大人、男女関わらず、盛り上がりを見せました。そして、もちろん、郡山市出身の大野選手も二試合に先発出場するなどの活躍を見せるとともに、大野選手自身も大きな記録を成し遂げました。まず、今回の日本代表のなかでチーム最年長であり、十月三日のサモア戦に三七歳一五〇日で先発出場し、村田互選手のもっていた日本代表最年長出場記録を更新、二〇〇四年に日本代表としてデビューしてから、積み重ねてきた日本代表最多キャップ数を「96」に伸ばすという偉業を今大会で成し遂げるといって、素晴らしい活躍ぶりを見せてくださいました。

今大会の日本代表の活躍に興奮とたくさん感動をもたらしたことでしよう。さらに、十月二十二日には、大野選手がワールドカップ開催後、はじめて福島に凱旋し、県内のテレビ局の番組にも生出演され、ワールドカップでの話や今度についても語っておりました。また、高校生ラグーマンとの交流会も開催され、あこがれの大野選手との熱いひとときを過ごしたことでしよう。とてもお忙しい中、翌二十三日には、県中支所と酪王乳業にも来訪頂くなど今度も引き続き、大野選手の活躍をご期待し、応援して参りたいと思います。そして、四年後のワールドカップは日本での開催となります。大野選手は、「現役を続ける以上は日本代表にこだわる。前回大会が終わった後、次は無理だと思われていた。頑張れば四年後のW杯にも出場できるかもしれない」と、夢に向かうあきらめない姿勢、福島に元気を届けたいという思いに、ますますラグビーの人氣、ファンが増えそうです。



発行者 福島県酪農業協同組合  
発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地  
TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103  
URL <http://www.fukuraku.or.jp/>